大学生が競う「ふくお環かんたび」

Idea competition of “Fukuokan Tabi” (one-day environmental feeling and touching trips around Fukuoka prefecture) among Fukuokan undergraduate students

～エフコープ環境助成金活動報告会～

福岡環境学際フォーラム
小出秀雄・岡　重男

2014年5月17日

～2011年4月1日に発足～

福岡を拠点とする、専門・所属を超えた環境問題の勉強の場です。

福岡環境学際フォーラム

本フォーラムに関するお問い合わせは、お気軽に
mail@fukuokagakusai.com

トップページ TOP PAGE | 趣旨・運営メンバー AIMS & CORE MEMBERS | 定例研究会 MEETINGS | 関連事業 SIDE EVENTS | 関連リンク LINKS

WELCOME TO OUR COMMUNITY IN THE WEST!!

福岡環境学際フォーラム
Fukuoka Interdisciplinary Forum for Environmental Problems (FIFEP)
運営代表：小出秀雄（西南学院大学経済学部）

このたびはご訪問いただき、まことにありがとうございます。
こちらは、福岡環境学際フォーラムのホームページです。
本フォーラムは、福岡市内の大学に所属する環境問題の研究者有志を中心に、文系理系、産官学民といった既存の枠組みを意識せずに勉強し、議論する場です。
ご関心のある方々の、定例研究会や各種イベント、メーリングリスト、Facebookページへのご参加をお待ちしております。

Thank you for your visiting a homepage of Fukuoka Interdisciplinary Forum for Environmental Problems, FIFEP in short.

フォーラムの趣旨（2014年4月現在）

① 福岡を拠点に、九州・近隣諸国における環境問題の学際的検討と政策提案

② 特に、問題解決のために都市間連携、広域連携、国際連携を必要とする分野に着目

③ ３カ月に１回程度、フォーラム主催の研究会および懇親会を開催（西南学院大学近辺）

④ ネット（HP, Blog, Facebook, ML）を利用した活動記録や関連情報の公開、意見交換、共同研究・助成事業の相談など

フォーラムの運営メンバー（2014年4月現在）

岡　重男：公益社団法人福岡県産業廃棄物協会

【専 門】廃棄物工学

勢一智子：西南学院大学法学部

【専 門】行政法、環境法

鄭　雨宗：福岡工業大学社会環境学部

【専 門】環境経済学、地球温暖化政策

中山裕文：九州大学工学研究院

【専 門】環境システム工学、廃棄物工学

松田晋太郎：環境テクノス株式会社、合同会社ひびくー

【専 門】廃棄物管理、バイオマス利活用

渡邉智明：九州大学グリーンアジア国際リーダー教育センター

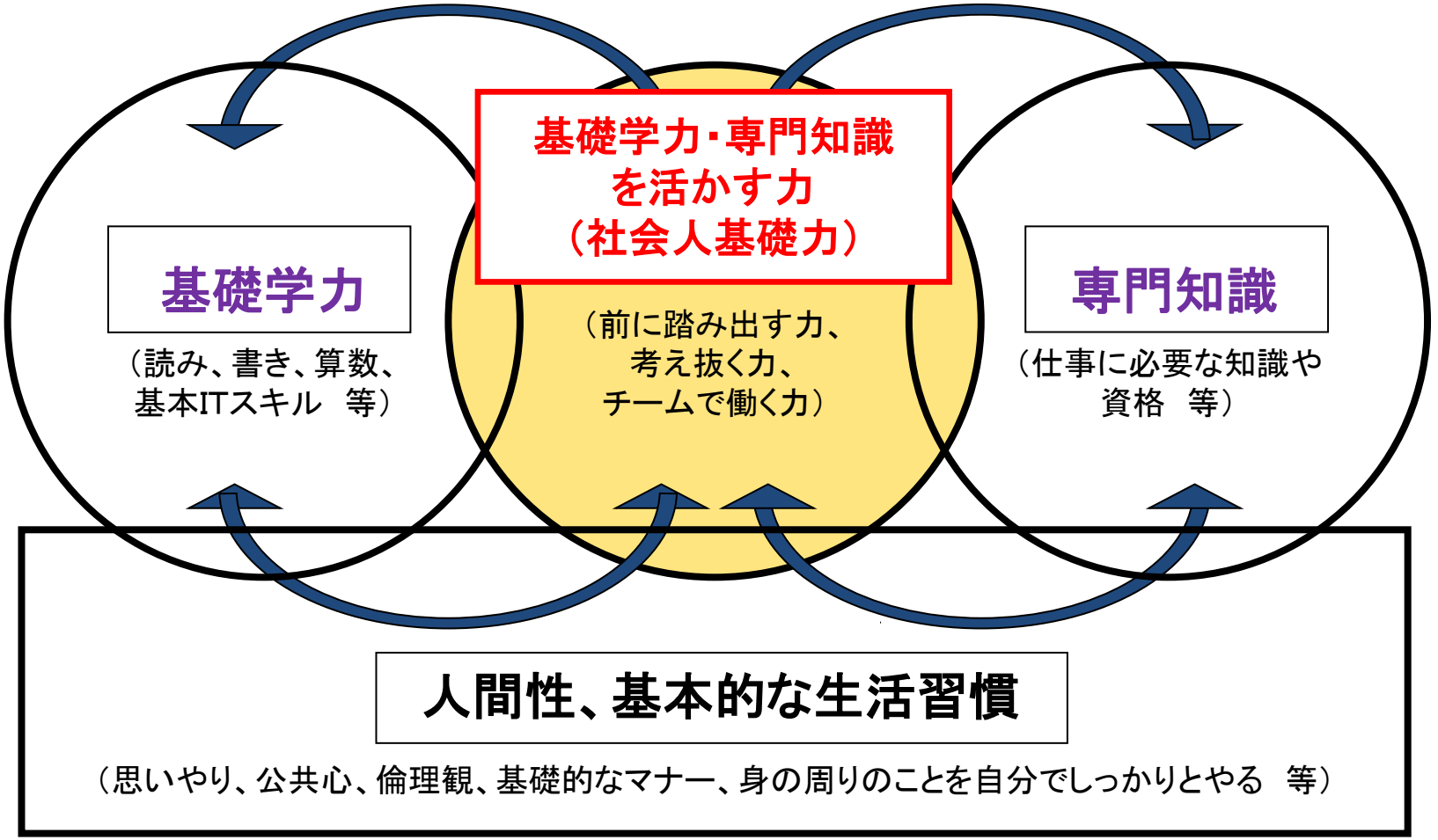
【専 門】国際政治・政治学、環境政治

「ふくお環かんたび」事業の趣旨

- 福岡県内の大学生（短大生・大学院生を含む）を対象に、ふくおかの身近な「環境」を感じられる日帰り旅行（＝ふくお環かんたび）の企画を公募する。
- 優れた企画を表彰し、広く紹介する。
- この事業を通じて、大学生の社会人基礎力の向上と、参加者同士の活発な交流を図る。

今、社会（企業）で求められている力

「基礎学力」「専門知識」に加え、今、それらをうまく活用し、「多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力＝社会人基礎力」が求められている。



資料：経済産業省

社会人基礎力とは

（3つの能力/12の要素）

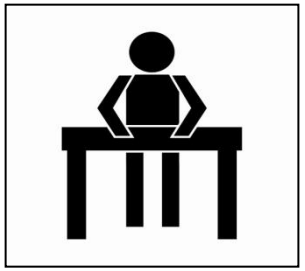
前に踏み出す力（アクション）

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～

- **主体性**
  物事に進んで取り組む力
- **働きかけ力**
  他人に働きかけ巻き込む力
- **実行力**
  目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力（シンキング）

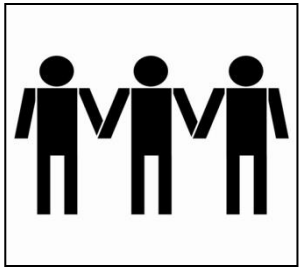
～疑問を持ち、考え抜く力～



- **課題発見力**
  現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- **計画力**
  課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- **創造力**
  新しい価値を生み出す力

チームで働く力（チームワーク）

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



- **発信力** 自分の意見をわかりやすく伝える力
- **傾聴力** 相手の意見を丁寧に聴く力
- **柔軟性** 意見の違いや立場の違いを理解する力
- **情況把握力** 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- **規律性** 社会のルールや人との約束を守る力
- **ストレスコントロール力** ストレスの発生源に対応する力

資料：経済産業省

「ふくお環かんたび」コンテスト
審査基準

① たびの中に、「エコ」な視点を５つ以上盛り込んでいるか。

② 地域の人と接するところを、１つ以上盛り込んでいるか。

③ たびのスタート地点とゴール地点の設定、時間と範囲、旅費の条件を遵守しているか（→次頁）。

④ たびの内容に、福岡ならではの地域性、学生ならではの自由な発想が見られるか。

→審査基準③の内容

A) たびのスタート地点は、チーム３人のいずれかの住所の最寄りの駅またはバス停とし、 ゴール地点はスタート地点と同一とする。

B) たびは、午前７時００分以降にスタート地点を出発し、当日午後７時００分までにゴール地点（＝スタート地点）に到着する。
また、目的地は基本的に福岡県内とするが、「エコ」な根拠があれば、少し飛び出してもＯＫ。【例：筑紫野市→佐賀県基山町で自然を満喫→鳥栖市→久留米市】

C) 旅費は１人当たり3,000円以内とし、交通費（運賃）のほか、施設等の入場料、何か借りたときのレンタル料、飲食代、お土産代などを含む。

4/13 コンテスト説明会

←コンテストの趣旨説明（岡）

近藤政一氏のご講演→
（ジャパン九州ツーリスト㈱代表取締役）

6/7「ふくお環(かん)たび」コンテスト・企画タイトル

	出場チーム所属
道真と緑に触れるぐるり旅～エンジョイコミュニケーション～	西南学院大学法学部法律学科
自転車でめぐる糸島の食・自然サイクリングツアー	西南学院大学経済学部経済学科
マイバックを持って行く！西新ぶらり旅	福岡工業大学社会環境学部社会環境学科
福岡再発見～君はまだ何も知らない～	福岡工業大学社会環境学部社会環境学科
大自然を満喫！いとしい糸島の旅	西南学院大学経済学部経済学科＆国際経済学科
~~北崎シーサイドエコ農園への旅~~	西南学院大学経済学部国際経済学科＆経済学科
法学女子のエコ東区見聞録♪	~~西南学院大学経済学部国際経済学科＆経済学科~~
早良区環たび	西南学院大学経済学部経済学科＆法学部法律学科
能古島への旅	西南学院大学文学部外国語学科英語専攻＆文学部英文学科

どのチームがどの企画を披露するのか…当日お楽しみに！！

旅のおともに…　**http://fukuokagakusai.com/tabi/**

大自然を満喫！いとしい糸島の旅

西南学院大学
文学部3名

福岡再発見～君はまだ何も知らない～

西南学院大学
経済学部3名

法学女子のエコ東区見聞録♪

西南学院大学
法学部3名

道真と緑に触れるぐるり旅
～エンジョイコミュニケーション～

西南学院大学
経済学部２名
法学部１名

自転車でめぐる糸島の食・自然サイクリングツアー

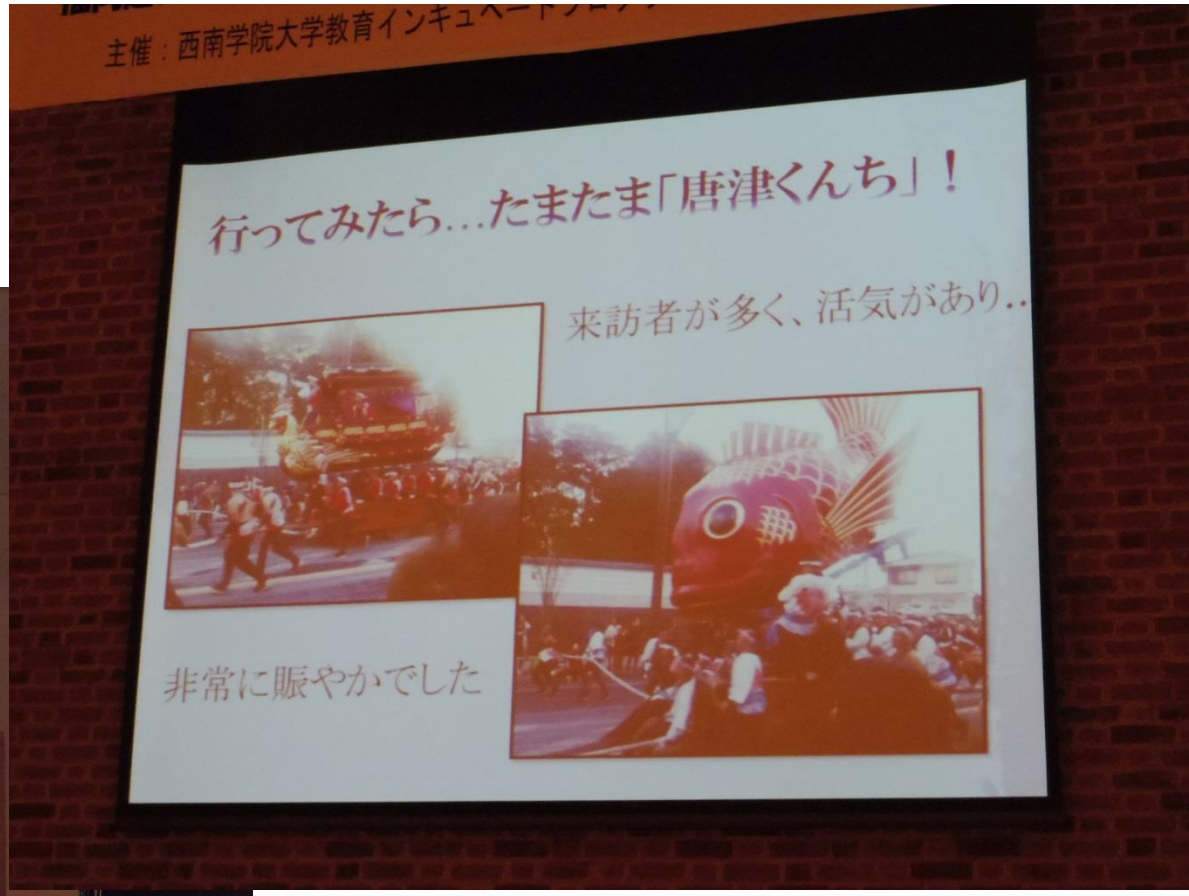
福岡工業大学
社会環境学部3名

表彰式

優秀企画賞 3
特別賞　　2

→以上５チームが、
11/22のグランプリ
決定戦に出場

福岡再発見～君はまだ何も知らない～



西南学院大学経済学部3名

自転車でめぐる糸島の食・自然
サイクリングツアー

福岡工業大学社会環境学部3名

～会場の風景～

法学女子のエコ東区見聞録♪

西南学院大学法学部3名

道真と緑に触れるぐるり旅
～エンジョイコミュニケーション～

西南学院大学経済学部2名・法学部1名

大自然を満喫！いとしい糸島の旅

西南学院大学文学部3名

投票→グランプリ決定

http://fukuokagakusai.com/tabi/

https://www.youtube.com/user/fukuokantabi/

出所:『私立大学環境保全協議会30周年記念誌—会誌第19号—』(2014年3月)48-49頁。

寄　稿

大学生がチームで企画し実行する「ふくお環(かん)たび」

西南学院大学 経済学部 教授　小出　秀雄

筆者は、2012年3月に東海大学で開催された総会・研修研究会に初めて参加したのを契機に、毎回関心を持って協議会の会合に参加している。同年8月末に本学で夏期研修研究会が開催されたときは、「大学間連携から生まれた"福岡環境学際フォーラム"とその取り組み」というタイトルで、特別講演をさせていただいた。

福岡環境学際フォーラムは2013年度、大学生が3人でチームを結成して一定の条件を満たした「エコ」な日帰り旅行を企画する、「ふくお環(かん)たび」(コンテスト)事業に携わっている。これは、エフコープ生活協同組合から助成金をいただいている環境関連事業であり、大学生の「社会人基礎力」(経済産業省提唱)を養う教育プロジェクトである。

以下では、この「ふくお環(かん)たび」事業の概要をご紹介する。なお、詳細については、本事業のホームページ<http://fukuokagakusai.com/tabi/>をご覧いただきたい。

まず、2013年6月7日に西南学院大学で開催した「ふくお環(かん)たび」コンテストでは、応募対象を福岡県内の大学生、3人1組のチームとし、以下の審査基準をあらかじめ明示して、企画募集を行った。

(1) たびの中に、「エコ」な視点を5つ以上盛り込んでいるか。
(2) 地域の人と接するところを、1つ以上盛り込んでいるか。
(3) 下記のたびのスタート地点とゴール地点の設定、時間と範囲、旅費の条件を遵守しているか。
◆たびのスタート地点は、チーム3人のいずれかの住所の最寄りの駅またはバス停とし、ゴール地点はスタート地点と同一とする。
◆たびは、午前7時00分以降にスタート地点を出発し、当日午後7時00分までにゴール地点(=スタート地点)に到着する。
また、目的地は基本的に福岡県内とするが、「エコ」な根拠があれば、少し飛び出してもOK。【例:筑紫野市→佐賀県基山町で自然を満喫→鳥栖市→久留米市】
◆旅費は1人当たり3,000円以内とし、交通費(運賃)のほか、施設等の入場料、何か借りたときのレンタル料、飲食代、お土産代などを含む。
(4) たびの内容に、福岡ならではの地域性、学生ならではの自由な発想が見られるか。

このコンテストには、西南学院大学および福岡工業大学の8つのチームが出場し、審査委員3名(民間企業2名、NPO1名)による厳正な審査の結果、優秀企画賞3チーム、特別賞2チームを決定した。

学生が苦心して企画した「ふくお環(かん)たび」は、このコンテストで終わるのではなかった。2013年11月22日に再び西南学院大学にて、「ふくお環(かん)たび」グランプリ決定戦を開催した。

この決定戦までに、先のコンテストで受賞した5チームは、自分たちが企画したたびを「ツアー」として実行した。企画者の旅費は、助成金から前もって支給した。各チームが企画実施報告を行い、今回は審査委員を設けず、会場出席者による投票に基づいて、グランプリ1チームを決定した。

最多得票により見事グランプリに輝いたのは、西南学院大学の経済学部・法学部の3年女子チームである。図は、6月7日のコンテストで配布された、三つ折り製の「たびのしおり」である。また、写真は、11月22日のグランプリ決定戦での表情と、グランプリの表彰状である。「たびのしおり」は決定戦でも配布されたが、修正はまったくなかった。当初より完成度が高かった証拠である。

福岡県内の大学生に呼びかけたにも関わらず、結局2大学しか参加しなかったという課題は残った。とはいえ、筆者の所属する経済学部だけでなく、法学部、文学部、社会環境学部(文系)といった、多様な専門分野の学生が参加してくれた意義はとても大きい。さぁ環境保全に取り組もう、と言っても学生はなかなか乗ってこないが、「エコ」な日帰り旅行を考えよう、と言うと楽しく相談し始める。

さらに収穫だったのは、このコンテストをきっかけに、学生が環境問題に関心を持ってくれたことである。グランプリを獲得したチームの代表者は経済学部だが、筆者のゼミ生ではない。筆者の「環境政策」という講義を受講していて、サークルの友達とこのコンテストに応募した。彼女は表彰式のあと、今回の経験で環境についてとても関心を持つようになった、と語っていた。

図　グランプリのチームが作成した「たびのしおり」

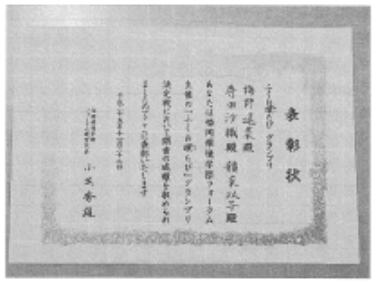


写真　グランプリのチームと表彰状

「ふくお環(かん)たび」事業の紹介はこれで終わるが、この事業を含めた現在進行中の教育プロジェクトである「福岡超大学環境ゼミナール」については、拙稿「『ふくお環(かん)ゼミ』の超大学イベントの実施状況」(『西南学院大学経済学論集』第48巻第3・4号)を参照されたい。〔※筆者にメール<koide@seinan-gu.ac.jp>をくだされば、抜き刷りを郵送いたします。〕

本協議会のグループ討議の場で、実践的環境教育の成功事例や課題について話し合うことによって、毎回多くのことを学んでいる。

筆者たちが現在携わっているのは、環境問題の勉強を媒介とした「社会に通用する」人材の育成であるが、実践的環境教育のグループ討議に出席している大学生と接すると、どの学生も明るく前向きで、しっかりした内容のことを話すのにいつも感心する。

筆者はたまたま現在、福岡市と西南学院大学が協働する子育て支援施設「西南子どもプラザ」のプラザ長を務めているが、小さい子はみんな前向きで、失敗など恐れない。思うままに散らかすままに、どんどん新しい遊びに取り掛かる。

エネルギーに満ちた子どもたちの遊び場に通い、うつむきがちな大学生をいかにして前に前に出てくるように仕向けるか、あれこれ思案する日々である。引き続き、本協議会のみなさまとさまざまな議論をさせていただければ、幸いである。

(私立大学環境保全協議会　2012年夏期研修研究会(世話人))

～お問い合わせ先～

〒814-8511
福岡市早良区西新6-2-92　西南学院大学内
福岡環境学際フォーラム

担当：小出秀雄(Hideo Koide)
koide@seinan-gu.ac.jp
TEL:092-823-4318(直通)